

# 静岡県月例経済報告

(令和6年2月号)

……令和5年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 574

— 静岡県経済産業部 —

## 目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	9
	・ 需要面	9
	・ 生産面	17
	・ 雇用面	19
	・ その他	22
III	静岡県主要産業の動向	26
IV	データからみた県内主要産業	29

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihokoku/index.html>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和5年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概況

令和5年12月を中心とした静岡県の景気は、物価高騰等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、雇用・所得環境や海外経済の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需要面

### 「個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる」

大型小売店販売額(12月)は、百貨店が3か月連続、スーパーが9か月ぶりに前年実績を下回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(12月)は、家電大型専門店が5か月連続、コンビニエンスストアが14か月ぶり、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、ドラッグストアが32か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも24か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、乗用車が16か月ぶり、軽自動車が2か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも16か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(12月)は、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が11か月連続、貸家が3か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも3か月連続で前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(12月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

### 「設備投資は、増加している」

日銀短観(12月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

**「輸出は、おおむね横ばいとなっている」**

**「輸入は、前年を下回った」**

輸出総額(12月)は、自動車<sup>1</sup>が12か月連続、自動車の部分品が6か月連続、二輪自動車類が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が3か月連続、エアコンが7か月連続、科学光学機器が4か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(12月)は、木材が13か月ぶり、原動機が3か月ぶり、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が7か月連続、パルプが3か月連続、紙類及び同製品が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総額でも9か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,222億円の輸出超過となった。

## 生産面

**「生産は、持ち直しの動きがみられる」**

鉱工業生産指数(12月)は、業種別にみると、輸送機械が10か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が5か月連続、電気機械が2か月ぶり、化学、食料品・たばこがいずれも3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が14か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも3か月ぶりに前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに増加した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では3か月ぶりに前年水準を上回った。

## 雇用面

**「雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる」**

有効求人倍率(12月)は1.21倍となり、前月と同水準となった。全国値を0.06ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(12月)は、9か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(11月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

## その他

**「金融環境は、貸出残高、信用保証金額はいずれも前年を下回った」**

県内金融機関の貸出残高(12月)は、前年同月比0.3%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(12月)は、前年同月比1.6%減と前年実績を下回った。

**「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」**

企業倒産(12月)は、件数は15件(前年同月比21.0%減)、負債総額は1,219百万円(同39.5%減)と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス>



前売入場券好評発売中

# 浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

浜名湖ガーデンパーク会場

2024年

4/6 **土** - 6/2 **日**

9:30~17:00

はままつフラワーパーク会場

2024年

3/23 **土** - 6/16 **日**

9:00~17:00

電子チケットの  
購入はこちらから

アソビュー!



Webket®



前売入場券 販売場所

コンビニ(セブンイレブン、ファミリー  
マート、ローソン、ミニストップ)、浜名湖  
ガーデンパーク、はままつフラワーパーク  
正面ゲート窓口 など

チケット購入方法  
取扱い店舗詳細は  
こちら



主催 [浜名湖花博20周年記念事業実行委員会] 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目12-1 (浜松総合庁舎5階)

## <トピックス>

静岡県 × eiicon

STARTUP  
VOYAGE  
PROJECT

静岡に新たな「波」を起こすグランプリは誰の手に！

静岡県主催 スタートアップビジネスプランコンテスト

# WAVES 2023 FINAL CONTEST 最終審査

2024年3月26日(火) 13:00-18:00

グランシップ 会議ホール・風

## PRIZE



1st グランプリ  
1,000万円



2nd グランプリ  
500万円



3rd グランプリ  
300万円

## FINALIST

Yellow Duck株式会社

『海洋再生可能エネルギーによる発電システムの開発・販売』

株式会社CULTA

『静岡発 世界に通用する「プレミアム農作物ブランド」の創出』

株式会社さかなドリーム

『日本一のマアジ養殖地・沼津における次世代養殖アジの展開』

株式会社ストラウト

『魚病早期検出システム開発プロジェクト「UMIDaS」』

株式会社スペース

『中継輸送プラットフォームマッチングサービス「ドラ基地」』

株式会社トヨコー

『静岡発の高出力サビ取りレーザーでインフラ構造物をメンテナンス』

株式会社TOWING

『未利用資源を活用した脱炭素・有機転換を両立する高機能バイオ炭』

株式会社NearMe

『持続可能な地域交通の確保、移動×生活サービスの新事業モデル』

株式会社Magic Shields

『高齢者の転倒を予防する見守りサービス「ころやわセンサ」』

リッパー株式会社

『脱炭素社会と豊かな海を実現するナノセルロースタイヤ素材事業』

## TICKET



観覧無料  
観覧申込は  
こちらから

## OUTLINE

日時 3月26日(火)  
13:00-18:00(12:30開場)

場所 グランシップ 会議ホール・風  
〒422-8019  
静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号 11階  
JR東静岡駅南口から  
メインエントランスまで徒歩5分

詳しいアクセスに  
ついてはこちら

※お車でのアクセスについては右記の  
QRコードからご確認をお願いいたします。



主催



静岡県

運営

eiicon

株式会社eiicon

# <トピックス>

## 静岡県地域企業情報誌「Shizuoka Job Palette」

学生が主体となり、静岡県内企業等 10 社の魅力を紹介する情報誌を作成しました



### Shizuoka Job Palett とは？

静岡県地域企業情報誌「Shizuoka Job Palette」は、学生が主体となって作成した、県内企業等 10 社の魅力を紹介した冊子です。

冊子は県内外の大学や就職支援機関に配布するとともに、広く御覧いただけるよう電子ブック化し、県の「ふじのくにパスポート」ホームページに掲載します。

### ふじのくにパスポートとは？

ふじのくにパスポートとは、静岡県のおでかけ情報や就職イベント情報、しずおかで働く魅力などを発信している、静岡県の「いま」がわかる情報サイトです。新着情報をお届けする公式 LINE もありますので、ぜひ登録してください。

ふじのくにパスポート  
ホームページは、右記 QR  
コードから御覧ください



### 冊子完成までの振り返り



#### 7～8月 事前勉強会

より効果的な取材を行うため、全 3 回の事前勉強会を実施。業界研究の方法や、インタビューの基礎等を学びました。



#### 8～12月 企業取材・執筆

学生が 2、3 人のグループに分かれ、各企業を訪問取材しました。取材後は、学生 1 人 1 人が執筆作業を行いました。



#### 令和 6 年 2 月 活動報告会

約 8 か月間にわたり実施した活動の総まとめとして、学生と企業が集まり、報告会を実施しました。振り返りだけでなく、学生と企業の交流会も実施しました。

令和5年度

第2回

# 静岡県企業脱炭素化 推進フォーラム

2050年カーボンニュートラルに向け、中小企業が脱炭素化に取り組む際に参考となる事例や注意点を学ぶことのできる基調講演を株式会社みなかみSOUL 代表取締役 前田雄大 様にご講演いただくとともに、県内の脱炭素化優良事例を紹介します。併せて、製造業に向けたカーボンニュートラルの手引き紹介、脱炭素化に資する商品・サービスの情報提供を行います。脱炭素化に資する商品・サービスの資料展示、企業との名刺交換等、参加者間のマッチングの場もございますので、ぜひご参加下さい!

世界一  
脱炭素に  
熱い男

基調  
講演

「時代の潮流に乗ってチャンスをつかむ  
中小企業の脱炭素経営のポイントと留意点」

株式会社みなかみSOUL 代表取締役 前田 雄大 氏

開催日時

令和6年 **3月14日(木)**  
13:00-16:30 (受付 12:30~)

参加費  
無料

会場

ホテルグランヒルズ静岡  
5Fセンチュールーム

静岡市駿河区南町18-1  
(JR静岡駅南口徒歩1分)

定員

100名(先着順)

内容

**基調講演** 株式会社みなかみSOUL 代表取締役 前田 雄大氏  
**事例発表** コアレックス信栄株式会社 取締役専務執行役員 佐野 仁氏  
**情報提供** 4団体(静岡県企業脱炭素化推進フォーラム会員)  
**資料展示・名刺交換等**  
※詳細は裏面をご覧ください

お問い合わせ

**SIF** 公益財団法人  
静岡県産業振興財団 企業脱炭素化支援センター  
〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館4階  
E-mail: newinnovate@ric-shizuoka.or.jp TEL: 054-273-4437  
主催: 静岡県・(公財)静岡県産業振興財団 企業脱炭素化支援センター



## <トピックス>

### 価格交渉支援セミナー

#### ～適切な価格転嫁に向けた国の取組および

#### 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の紹介～

主催：静岡県、公益財団法人 静岡県産業振興財団

中小企業庁では2021年9月より、毎年9月と3月を「価格交渉促進月間」と設定し、エネルギー価格や原材料費、労務費などが上昇する中、中小企業が適切に価格転嫁をしやすい環境作りの促進を図っております。

そこで、静岡県および（公財）静岡県産業振興財団では、「価格交渉促進月間」に合わせて静岡県内の中小企業様向けに適切な価格転嫁に向けた国の取組や昨年11月に策定された「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」についてご紹介します。

#### 【開催概要】

日時	令和6年3月15日（金）14時30分～16時20分
開催方法	会場とオンラインのハイブリッド方式 ＜会場＞静岡県産業経済会館 3階特別会議室（静岡市葵区追手町44-1）
内容	14時30分～ 開会  14時35分～ 適切な価格転嫁に向けた国の取組について 講師：経済産業省 関東経済産業局 産業部 適正取引推進課  15時10分～ 買ったたきの事例の紹介や「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の紹介 講師：公正取引委員会 中部事務所 下請課  15時45分～ 閉会  15時50分～ 個別相談・名刺交換 ※会場のみ
対象	静岡県内に本社または主たる事業所を有する中小企業者等
定員	＜会場＞30名 ＜オンライン＞100名 ※会場参加の場合は、1社1名まででお願いします。 オンライン参加は1社あたりの参加者の制限はありません。

#### 【申込方法】

申込方法	下記WEBサイトまたはQRコードから申してください。 URL： <a href="http://www.ric-shizuoka.or.jp/news/news_941.html">http://www.ric-shizuoka.or.jp/news/news_941.html</a>	QRコード 
申込締切日	令和6年3月12日（火） ※先着順。 募集定員に達しましたら受付終了します。	

#### 【申込み・問合せ先】

公益財団法人 静岡県産業振興財団 取引支援チーム 大橋  
TEL：054-273-4433 FAX：054-251-3024  
E-mail：torihiki@ric-shizuoka.or.jp

# <トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

## ① 県制度融資の申込状況

(令和6年2月20日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 872	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 73	件 490	建設業36.7%、卸小売業18.6%、製造業14.7%、運輸業5.3%、飲食業3.5%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 921	件 5,050	建設業24.9%、製造業22.2%、卸小売業22.1%、飲食業6.7%、運輸業4.2%、宿泊・旅行業0.9%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 9	件 30	製造業60.0%、建設業10.0%、卸小売業3.3%等
計		億円 12,923	件 77,113	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

## ② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農・林・漁	5.1	9.8	▲19.9	▲22.7	▲22.0	▲31.0	▲3.9	▲28.3	▲24.4	▲0.7	▲24.6	▲18.3
建設業	▲14.0	▲8.6	▲0.5	▲8.5	▲7.0	▲3.9	▲9.9	▲2.0	1.2	▲16.9	1.1	16.5
製造業	▲7.2	▲16.4	▲18.1	▲4.8	▲13.4	▲17.4	▲12.8	▲17.7	▲13.8	▲15.0	▲12.8	▲10.4
卸売・小売業	▲2.1	9.3	19.9	19.1	2.6	▲3.5	14.6	▲16.8	▲16.6	24.1	▲10.4	▲35.2
金融、保険 不動産業	▲9.1	11.1	6.3	▲13.7	18.4	▲2.9	▲6.1	12.1	▲3.9	▲17.3	5.3	17.9
運輸業	▲10.7	▲17.3	▲8.7	9.6	▲2.6	▲5.3	▲3.2	▲4.2	▲10.7	▲1.9	▲5.7	14.9
情報通信業	▲12.4	15.5	▲22.0	▲6.6	17.6	▲22.3	7.0	7.1	▲15.5	18.3	1.9	21.8
飲食、宿泊 サービス業他	4.0	7.0	5.0	▲5.1	16.4	0.3	▲17.8	2.7	▲1.6	▲3.8	▲12.5	3.3
県全体	▲1.8	▲1.4	▲1.5	0.4	▲0.8	▲6.6	▲2.4	▲6.0	▲10.4	▲1.4	▲4.8	▲4.9

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

## ③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月
農・林・漁・鉱業	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	4	5	2	2	2	8	6	7	2	1	2	2
製造業	6	4	3	3	2	5	2	4	6	2	8	5
卸売・小売業	4	8	4	3	4	5	2	6	2	9	5	3
金融、保険 不動産業	1	1	0	2	0	2	0	3	0	1	0	0
運輸業	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1
情報通信業	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	2	10	2	6	7	4	5	8	4	4	3	4
県全体	19	30	11	17	15	24	15	31	17	19	19	15
うちコロナ 関連倒産	3	11	8	2	9	5	4	5	4	6	10	3

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

12月 = 46,496百万円

\*前年同月比： 2.3%減

(県内3百貨店、159スーパー合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は46,496百万円で、前年同月比 2.3%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 3.4%減）が3か月連続、スーパー（同 2.1%減）が9か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同 7.4%減）が2か月ぶり、身の回り品（同 21.0%減）が4か月連続、飲食料品（同 1.0%減）が9か月ぶり、家庭用品（同 5.2%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.2%減と、18か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	37,198	36,227	38,847	37,948	35,452	37,583	37,605	46,496
前年同月比(%)	0.1	0.9	3.3	1.9	0.3	▲0.2	0.9	▲2.3
うち百貨店(%)	▲0.2	▲0.2	4.1	8.0	0.2	▲7.0	▲2.4	▲3.4
スーパー(%)	0.2	1.0	3.2	1.0	0.3	1.1	1.6	▲2.1
(参考1)全国前年同月比(%)	3.4	4.1	5.5	6.0	4.5	3.7	4.4	2.5
うち百貨店(%)	6.6	7.2	8.8	12.0	9.4	6.3	7.7	5.8
スーパー(%)	2.3	2.9	4.3	4.2	2.8	2.8	3.1	1.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	2.0	2.4	4.9	4.1	2.5	2.2	3.4	▲0.2

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲0.4	1.1	9.8	0.2	▲3.7	▲3.7	3.1	▲7.4
うち紳士服・洋品	4.5	4.3	14.4	8.4	▲0.5	2.7	13.2	▲10.2
婦人・子供服・洋品	▲0.7	1.0	9.5	▲1.6	▲3.5	▲5.1	▲0.3	▲5.6
身の回り品	7.1	▲1.7	7.7	23.3	▲6.2	▲18.3	▲11.9	▲21.0
飲食料品	0.2	0.3	2.2	1.0	0.5	0.8	0.6	▲1.0
家庭用品	▲10.5	2.1	▲2.0	▲6.5	▲5.2	▲5.0	▲3.5	▲5.2
うち家庭用電気機械器具	▲19.6	5.2	▲5.2	▲6.7	▲6.0	▲8.5	7.0	▲3.0

(注)店舗数調整済、全月速報値

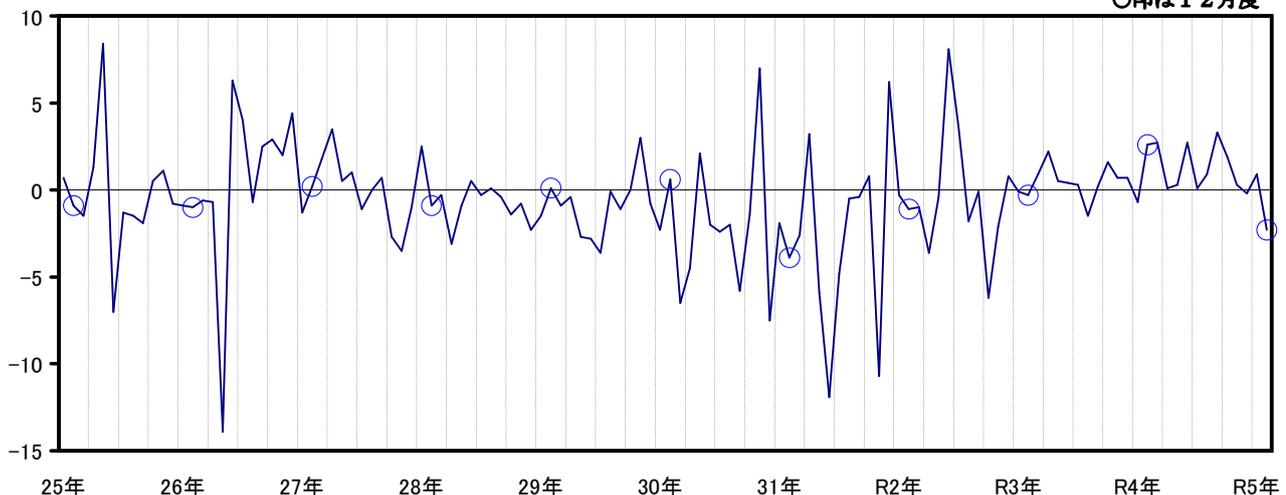
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は12月度



## (2) 専門量販店等販売額

12月 = 86,114百万円

\*前年同月比：0.1%増

(県内94家電大型専門店、1,658コンビニエンスストア、604ドラッグストア、108ホームセンター合計)

### <概況>

12月の専門量販店等販売額は86,114百万円で、前年同月比0.1%増となり、24か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比8.7%減）が5か月連続、コンビニエンスストア（同0.3%減）が14か月ぶり、ホームセンター（同5.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、ドラッグストア（同5.6%増）が32か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	76,578	75,162	84,147	80,673	76,136	77,087	74,993	86,114
前年同月比（%）	2.9	2.0	5.4	2.0	2.9	2.5	3.2	0.1
うち 家電大型専門店（%）	▲4.3	▲7.8	1.5	▲2.8	▲3.4	▲10.2	▲1.7	▲8.7
コンビニエンスストア（%）	2.5	0.8	3.4	1.3	0.6	0.7	0.6	▲0.3
ドラッグストア（%）	8.8	8.2	9.3	5.6	9.0	10.0	6.7	5.6
ホームセンター（%）	▲6.0	▲2.7	4.3	▲3.1	▲2.2	▲3.2	5.8	▲5.0
(参考)全国前年同月比（%）	3.8	2.9	6.5	5.7	4.5	3.2	3.4	2.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

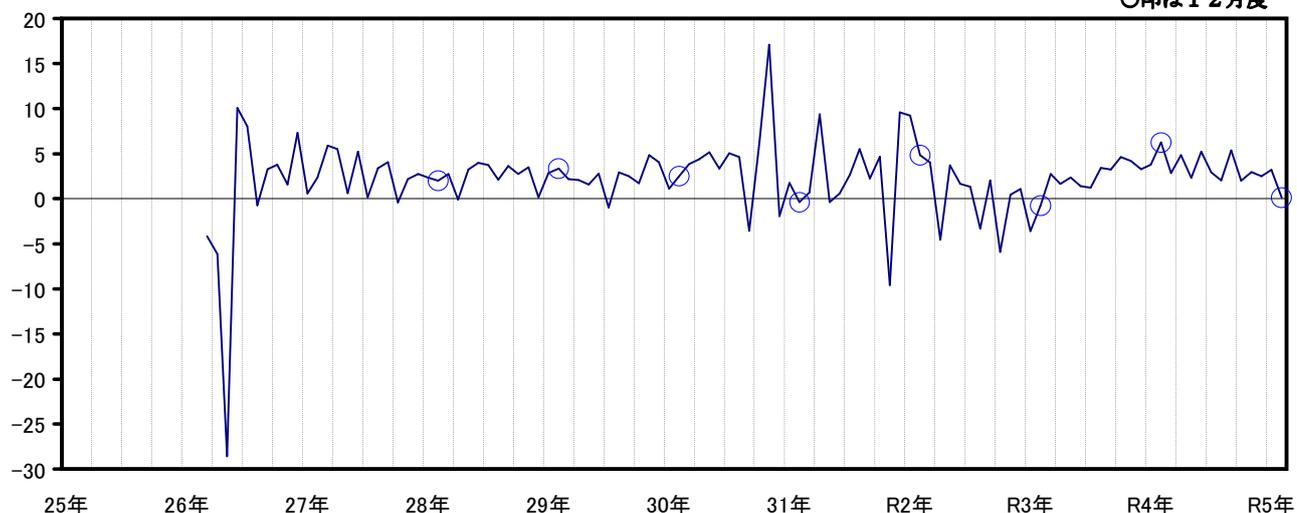
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は12月度



**(3) 自動車(新車)新規登録台数****12月 = 12,336 台**

\*前年同月比： 8.2%減

(乗用車、軽自動車合計)

## &lt;概況&gt;

12月の自動車(新車)新規登録台数は12,336台で、16か月ぶりに前年実績を下回った。  
 車種別にみると、乗用車(同 3.2%減)が16か月ぶり、軽自動車(同 13.5%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	11,291	13,003	12,119	11,120	14,721	13,569	14,028	12,336
前年同月比(%)	22.8	14.4	1.6	12.6	11.7	4.5	0.0	▲ 8.2
(参考)全国前年同月比(%)	28.4	23.9	11.4	19.8	11.8	13.1	11.7	6.1

&lt;資料&gt;県税務課、日本自動車販売協会連合会

## &lt;車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移&gt;

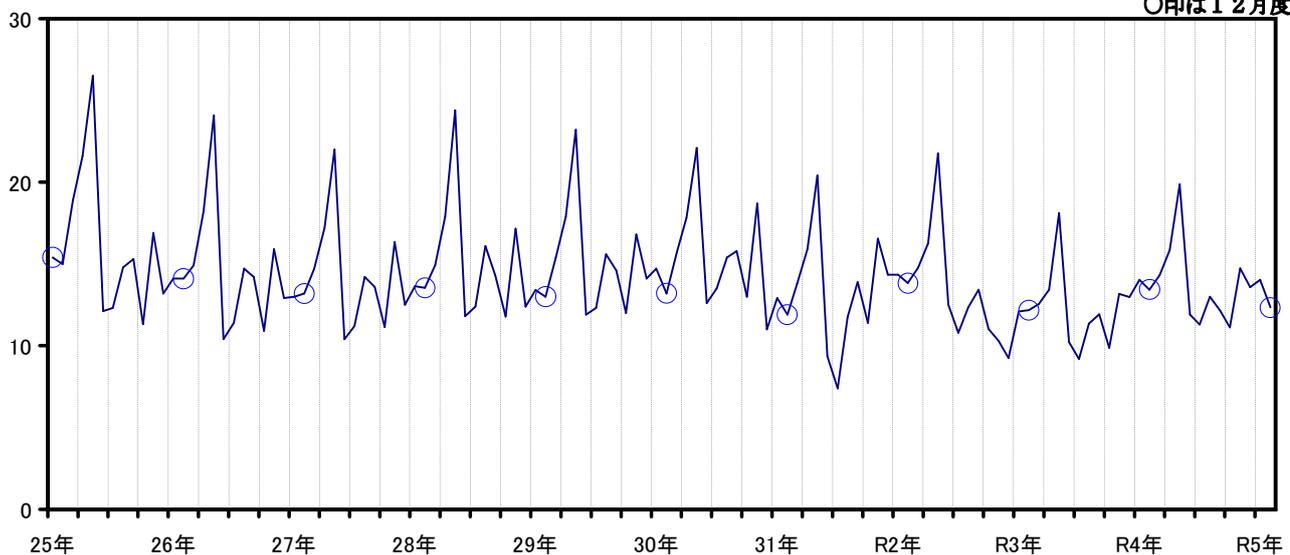
(単位：%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	22.8	14.4	1.6	12.6	11.7	4.5	0.0	▲ 8.2
乗用車	35.0	24.4	16.8	12.9	10.6	4.2	7.2	▲ 3.2
軽自動車	11.5	4.5	▲ 14.2	12.3	12.9	4.8	▲ 6.9	▲ 13.5

&lt;資料&gt;県税務課

## &lt;過去10年間の推移&gt;

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課  
○印は12月度

(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,512 戸

\*前年同月比： 9.9%減

### <概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,512戸で、前年同月比 9.9%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 32.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 18.7%減）が11か月連続、貸家（同 19.9%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数（戸）	1,672	1,621	1,712	2,028	1,575	1,412	1,452	1,512
前年同月比（%）	5.4	▲ 7.3	▲ 7.6	17.2	0.6	▲ 14.0	▲ 13.8	▲ 9.9
うち持家（%）	▲ 11.1	▲ 14.6	▲ 6.9	▲ 3.2	▲ 1.8	▲ 17.6	▲ 14.0	▲ 18.7
貸家（%）	17.3	13.0	▲ 27.5	63.5	24.7	▲ 24.2	▲ 11.0	▲ 19.9
分譲住宅（%）	34.5	▲ 16.6	40.1	2.2	▲ 28.4	21.7	▲ 18.5	32.9
(参考)全国前年同月比（%）	3.5	▲ 4.8	▲ 6.7	▲ 9.4	▲ 6.8	▲ 6.3	▲ 8.5	▲ 4.0

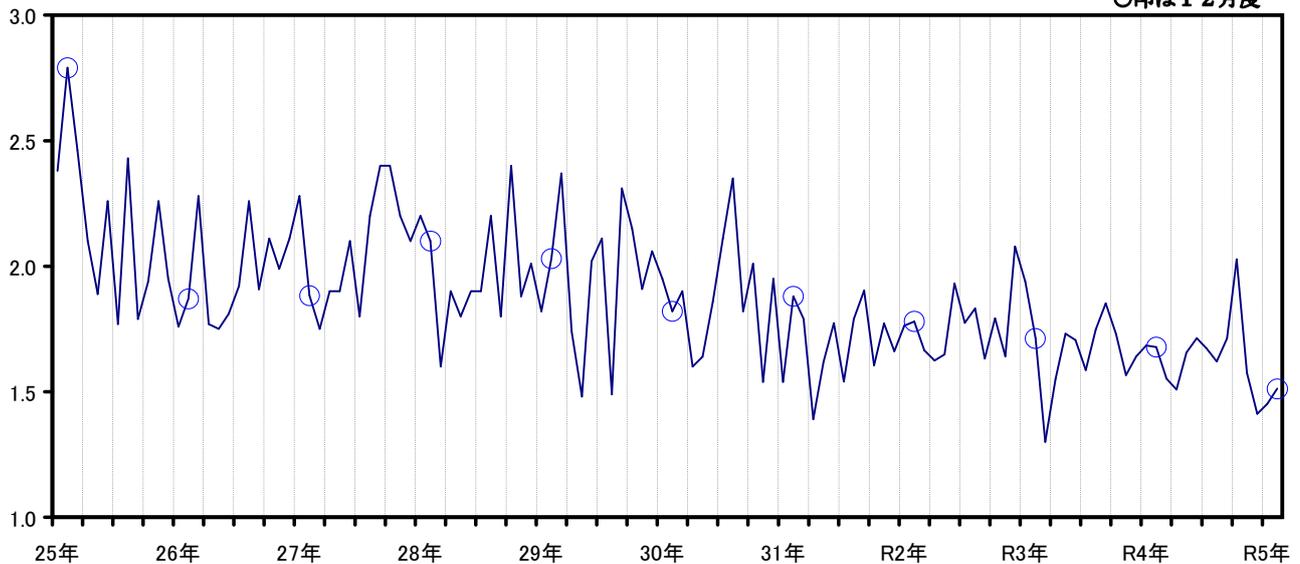
<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は12月度



### 3 公共工事請負金額

12月 = 15,407百万円

\*前年同月比：21.5%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

12月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は15,407百万円で、前年同月比21.5%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は456件で、前年同月比8.3%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額（百万円）	40,649	35,790	27,166	26,199	33,777	20,383	18,433	15,407
前年同月比（%）	35.5	6.8	▲10.6	▲28.9	▲6.5	▲18.0	43.3	21.5
年度累計前年同月比（%）	14.2	12.1	7.4	0.1	▲1.0	▲2.7	▲0.4	0.6
件数（件）	612	844	760	755	928	724	616	456
前年同月比（%）	17.2	9.8	4.1	▲6.4	▲11.1	3.0	18.9	8.3
年度累計前年同月比（%）	6.8	8.1	6.9	3.7	0.2	0.6	2.3	2.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	11.2	▲0.5	▲76.1	7.7	11.8	▲56.5	▲5.3	▲76.2
独立行政法人等	33.3	▲80.8	▲34.6	▲99.5	161.4	▲99.0	▲16.4	▲86.2
県	49.1	15.9	34.9	▲21.3	▲20.5	6.4	37.6	53.2
市町	28.3	31.2	▲12.0	▲6.9	0.4	6.0	27.8	82.2
地方公社	-	757.4	▲67.0	▲6.9	-	-	-	-
その他	101.4	▲62.3	▲74.3	▲83.2	16.9	-	2,344.2	277.6

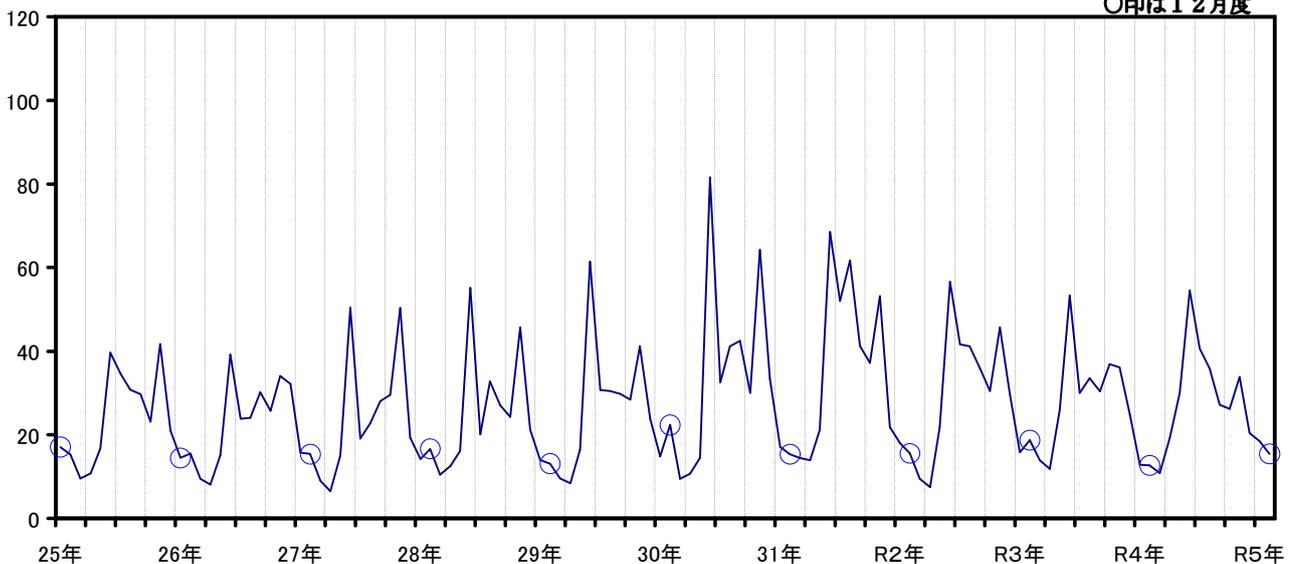
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は12月度



## 4 設備投資

### <概況>

令和4年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少、全産業で増加した。

令和5年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 25.9%増）、非製造業（同 4.2%増）、全産業（同 16.1%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.2%増）、非製造業（同 4.3%増）、全産業（同 13.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は103,727㎡で、前年同月比 37.6%減となり、2か月に前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

#### 設備投資（含む土地投資）

		R4年度	R5年度 (計画)
全産業	県	9.1	(▲1.7) 16.1
	全国	9.2	(▲0.2) 12.8
製造業	県	19.2	(▲2.9) 25.9
	全国	9.0	(▲0.4) 14.6
非製造業	県	▲1.1	(0.1) 4.2
	全国	9.3	(0.0) 11.7

#### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	12.6	(▲1.4) 13.4
	全国	7.4	(▲0.6) 12.6
製造業	県	17.5	(▲1.4) 16.2
	全国	8.5	(▲0.5) 11.4
非製造業	県	▲1.0	(▲1.1) 4.3
	全国	6.2	(▲0.6) 14.0

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和5年12月調査)」

### <最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	134,431	138,959	105,191	83,901	52,555	108,519	255,946	103,727
前年同月比（%）	2.7	30.3	▲57.1	▲1.5	▲33.3	▲37.1	76.8	▲37.6
（参考）全国前年同月比（%）	▲17.0	▲34.2	▲27.5	▲11.5	0.8	28.4	▲9.8	1.0

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R5年9月	R5年12月	R6年3月 (予測)
全産業		4	12	9
	製造業	▲3	7	2
	非製造業	11	15	15
（参考）全国・全産業		10	13	8

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年12月調査)」

## 5 輸出

12月 = 235,745百万円

\*前年同月比： 5.0%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は235,745百万円で、前年同月比 5.0%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 36.6%増）が12か月連続、自動車の部分品（同 37.4%増）が6か月連続、二輪自動車類（同 11.1%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 25.1%減）が3か月連続、エアコン（同 73.2%減）が7か月連続、科学光学機器（同 12.3%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 3.1%減）が13か月連続、米国向け（同 8.5%減）が3か月連続、EU向け（同 6.1%減）が16か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	191,860	224,383	234,264	199,106	230,788	250,121	238,157	235,745
前年同月比(%)	5.2	0.0	2.1	▲4.8	7.5	0.6	▲2.7	▲5.0

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	27.5	▲17.2	2.8	▲14.2	21.2	▲11.8	▲0.3	▲25.1
エアコン	2.8	▲18.2	▲20.6	▲12.5	▲36.6	▲43.7	▲51.1	▲73.2
自動車	13.0	53.0	60.0	69.4	65.9	133.3	76.0	36.6
自動車の部分品	8.0	▲10.7	36.1	18.2	49.0	39.2	29.2	37.4
二輪自動車類	23.8	29.4	▲7.6	▲36.5	▲3.8	15.0	20.9	11.1
科学光学機器	15.0	▲0.1	0.6	9.1	▲15.1	▲1.9	▲8.6	▲12.3

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲13.1	▲13.1	▲10.4	▲8.0	▲9.0	▲10.1	▲6.1	▲3.1
米国	5.9	▲7.2	▲0.1	▲15.3	11.2	▲5.2	▲6.1	▲8.5
EU	43.6	25.4	24.2	9.4	22.7	25.7	6.4	▲6.1

<資料>清水税関支署

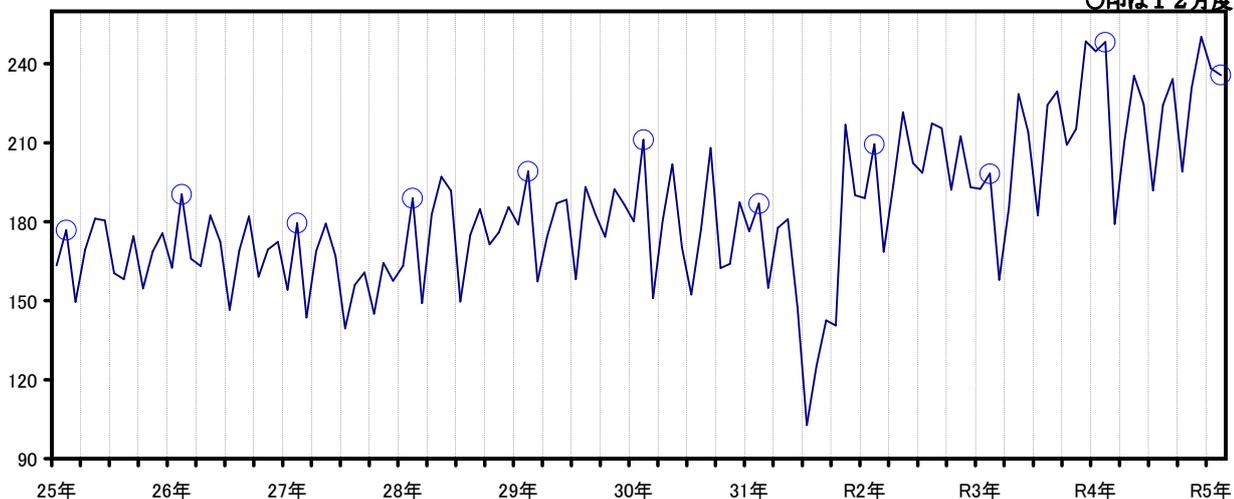
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は12月度



## 6 輸入

12月 = 113,501百万円

\*前年同月比： 23.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は113,501百万円で、前年同月比 23.4%減となり、9か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 2.5%増）が13か月ぶり、原動機（同 29.8%増）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 40.1%増）が9か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 25.3%減）が7か月連続、パルプ（同 57.3%減）が3か月連続、紙類及び同製品（同 28.3%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 2.5%減）が6か月連続、米国から（同 71.4%減）が3か月ぶり、EUから（同 44.7%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	121,341	124,354	111,552	107,006	114,051	117,016	122,752	113,501
前年同月比(%)	▲0.3	▲7.7	▲7.2	▲16.5	▲14.2	▲18.1	▲12.3	▲23.4

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類及び同調製品	5.7	▲27.1	▲18.7	▲16.0	▲4.8	▲29.4	▲38.6	▲25.3
木材	▲19.4	▲45.5	▲35.5	▲32.3	▲33.4	▲36.6	▲26.3	2.5
パルプ	16.8	▲25.0	▲41.1	▲40.9	1.3	▲48.9	▲19.8	▲57.3
紙類及び同製品	19.3	▲12.8	7.3	5.9	35.2	▲11.1	16.1	▲28.3
原動機	▲5.3	▲25.4	2.7	▲11.8	23.4	▲13.9	▲11.0	29.8
自動車の部分品	24.0	53.4	38.2	25.5	28.1	17.4	28.8	40.1

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲14.8	8.3	▲4.8	▲2.5	▲24.0	▲14.3	▲8.0	▲2.5
米国	98.1	▲22.1	18.7	13.0	▲30.6	34.3	2.2	▲71.4
EU	15.6	▲9.5	12.9	▲31.7	▲12.0	8.2	▲20.5	▲44.7

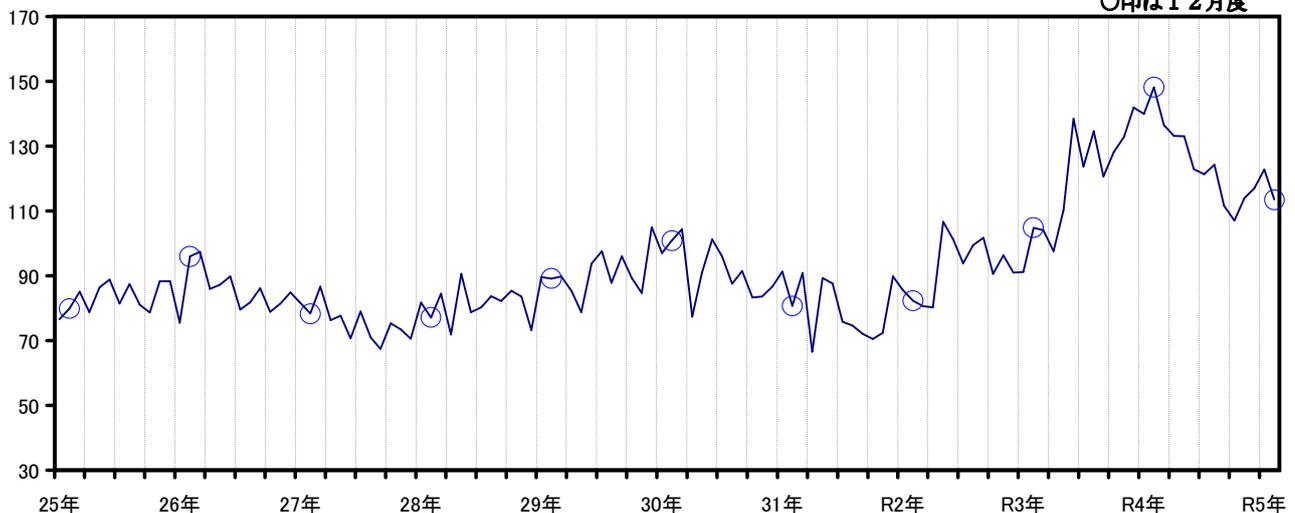
<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は12月度



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 鉱工業生産指数

12月 = 95.3

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.6%増

\*前年同月比(原指数) : 1.5%減

#### <概況>

12月の鉱工業生産指数(総合)は95.3(季節調整済指数)で、前月比は1.6%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は1.5%減と、3か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、輸送機械(前年同月比 5.9%増)が10か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 10.4%減)が5か月連続、電気機械(同 1.9%減)が2か月ぶり、化学(同 6.3%減)、食料品・たばこ(同 0.3%減)がいずれも3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 2.3%減)が14か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指 数	95.5	93.1	90.8	90.2	92.9	94.7	93.8	95.3
前 月 比 (%)	0.7	▲ 2.5	▲ 2.5	▲ 0.7	3.0	1.9	▲ 1.0	1.6
前 年 同 月 比 (%)	13.6	▲ 0.6	▲ 3.7	▲ 6.1	▲ 5.4	1.9	0.1	▲ 1.5
(参考)全国前年同月比(%)	4.2	0.0	▲ 2.3	▲ 4.4	▲ 4.4	1.1	▲ 1.4	▲ 1.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

ただし、全国鉱工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	26.6	▲ 11.2	8.4	▲ 19.2	▲ 7.1	▲ 11.1	▲ 11.6	▲ 10.4
電 気 機 械 工 業	46.2	10.1	▲ 17.9	▲ 19.9	▲ 33.2	▲ 7.1	1.5	▲ 1.9
輸 送 機 械 工 業	16.1	6.1	0.8	3.5	4.9	14.3	5.2	5.9
化 学 工 業	2.9	0.9	▲ 2.1	0.9	▲ 2.0	1.3	1.5	▲ 6.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 6.5	▲ 5.9	▲ 6.3	▲ 4.4	▲ 5.5	▲ 4.4	▲ 1.3	▲ 2.3
食料品・たばこ工業	5.8	▲ 7.9	▲ 6.2	▲ 6.0	▲ 1.6	3.7	1.0	▲ 0.3

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

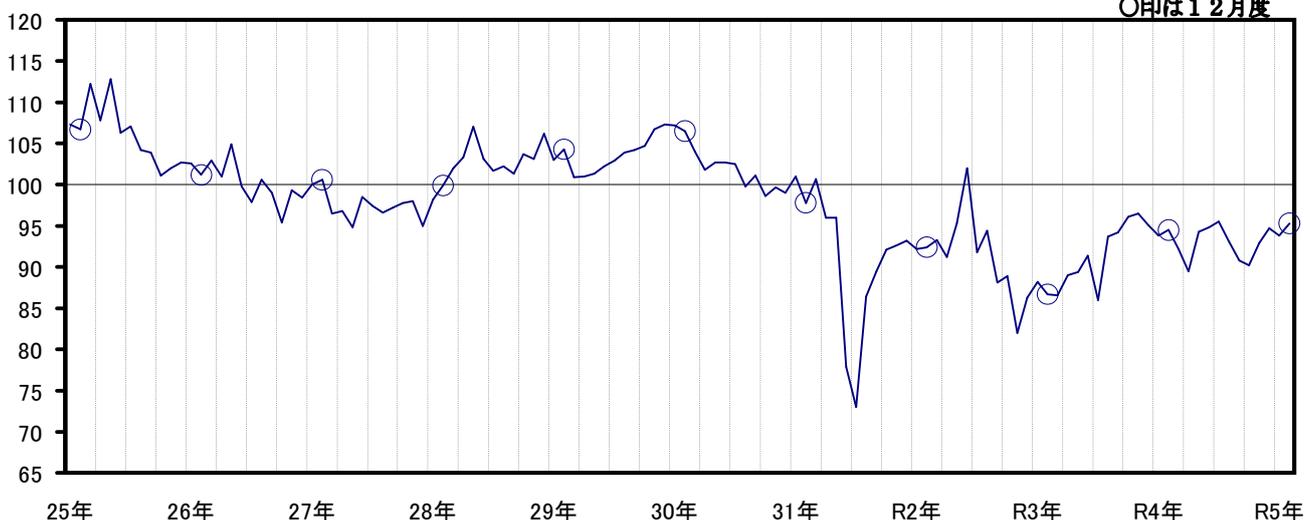
<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は12月度



## (2) 鋳工業在庫指数

12月 = 107.8

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.2%増

\*前年同月比(原指数) : 1.2%増

### <概況>

12月の鋳工業在庫指数(総合)は107.8(季節調整済指数)で、前月比は2.2%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は1.2%増と、3か月ぶりに前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 19.6%増)が12か月連続、食料品・たばこ(同 5.7%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同 2.2%減)が5か月連続、輸送機械(同 7.5%減)が6か月連続、化学(同 9.6%減)が14か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 0.2%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	R 5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	108.2	109.1	104.7	106.6	111.1	103.7	105.5	107.8
前月比(%)	▲ 2.8	0.8	▲ 4.0	1.8	4.2	▲ 6.7	1.7	2.2
前年同月比(%)	1.0	3.6	▲ 3.3	▲ 2.2	2.1	▲ 5.0	▲ 3.4	1.2
(参考)全国前年同月比(%)	7.3	5.9	5.7	3.2	0.2	1.0	1.0	▲ 0.2

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数  
ただし、全国鋳工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	23.5	12.8	22.2	19.5	21.4	17.8	14.5	19.6
電気機械工業	15.7	13.6	11.0	▲ 1.8	▲ 10.7	▲ 13.1	▲ 4.2	▲ 2.2
輸送機械工業	22.6	12.6	▲ 26.2	▲ 6.5	▲ 5.2	▲ 16.6	▲ 10.3	▲ 7.5
化学工業	▲ 18.8	▲ 2.1	▲ 0.4	▲ 6.8	▲ 4.2	▲ 25.4	▲ 20.7	▲ 9.6
パルプ・紙・紙加工品工業	2.8	▲ 0.1	▲ 2.5	0.0	▲ 0.8	▲ 0.6	1.9	▲ 0.2
食料品・たばこ工業	5.4	9.7	▲ 16.0	▲ 3.7	18.4	13.8	▲ 1.3	5.7

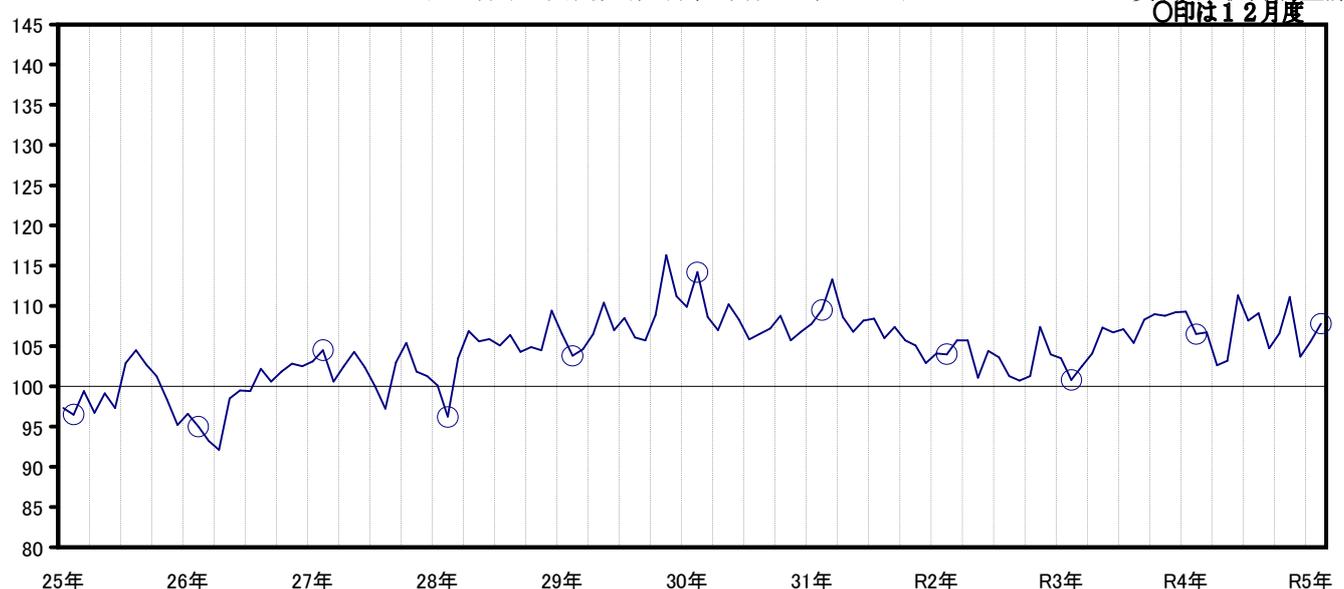
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

12月 = 1.21倍

\*前月比(季節調整値) : 0.00ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概況>

12月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.21倍となり、前月と同水準となった。35か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.06ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比1.2%減)は7か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比14.9%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同8.7%増)がいずれも3か月ぶり、情報通信業(同43.0%増)が3か月連続、運輸業・郵便業(同24.0%増)が2か月ぶり、医療・福祉(同0.8%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同9.6%減)が14か月連続、卸売業・小売業(同35.0%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.26	1.26	1.22	1.20	1.19	1.20	1.21	1.21
全 国	1.31	1.30	1.29	1.29	1.29	1.30	1.28	1.27

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	▲7.2	▲3.2	▲10.9	▲3.0	2.8	▲16.5	▲1.0	14.9
製造業	▲7.3	▲16.8	▲9.6	▲15.8	▲12.4	▲14.7	▲10.5	▲9.6
情報通信業	26.6	▲22.6	7.0	15.9	▲13.8	23.3	3.5	43.0
運輸業・郵便業	6.1	▲9.5	▲1.3	▲4.5	▲2.5	1.0	▲2.2	24.0
卸売業・小売業	12.0	▲2.2	40.0	▲4.4	▲13.6	67.3	▲2.1	▲35.0
医療・福祉	▲1.6	▲0.6	3.7	▲2.5	▲10.5	▲4.6	2.9	0.8
サービス業(他に分類されないもの)	7.8	6.7	▲12.3	12.2	4.1	▲12.6	▲4.2	8.7
合計	1.4	▲4.9	▲1.0	▲3.9	▲7.9	▲0.1	▲4.5	▲1.2

(注)学卒、パートタイムを除く

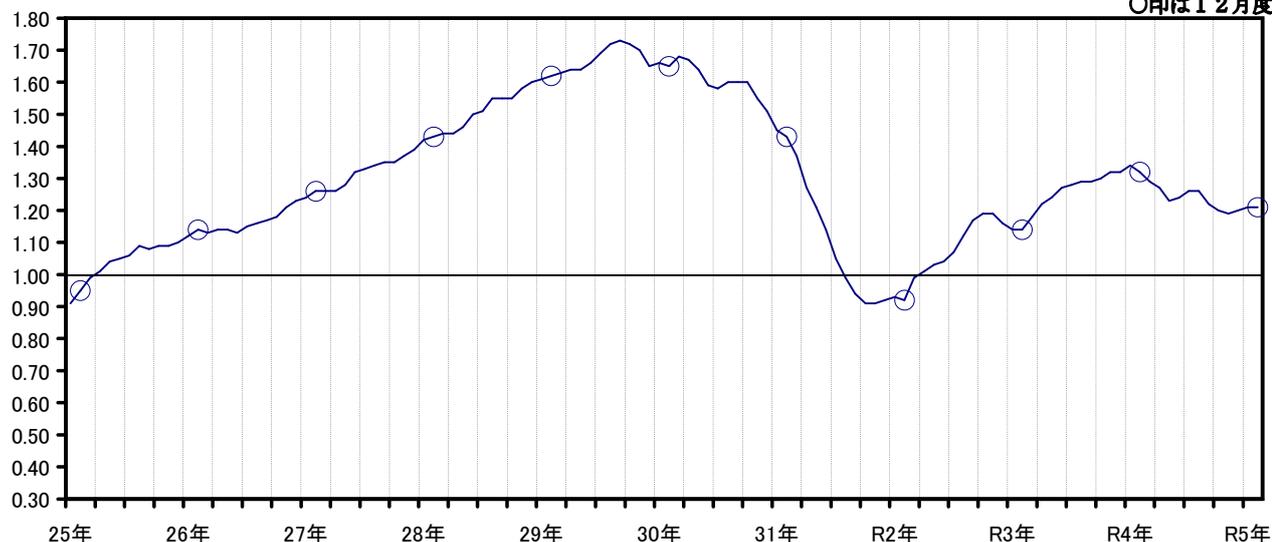
<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は12月度



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 11,597人

\*前月比: 3.5%減

\*前年同月比: 9.9%増

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は11,597人で、前月比は3.5%減と、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は9.9%増と9か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.4%と前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(令和5年7~9月)の完全失業率は2.1%で、前期(令和5年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	10,836	12,069	12,704	13,329	12,705	12,813	12,014	11,597
前月比(%)	7.9	11.4	5.3	4.9	▲4.7	0.9	▲6.2	▲3.5
前年同月比(%)	4.4	5.0	6.3	6.1	6.0	13.8	11.0	9.9
(参考)全国前年同月比(%)	6.9	3.1	6.0	3.4	2.6	7.9	6.0	4.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.5	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4

(注)季節調整値

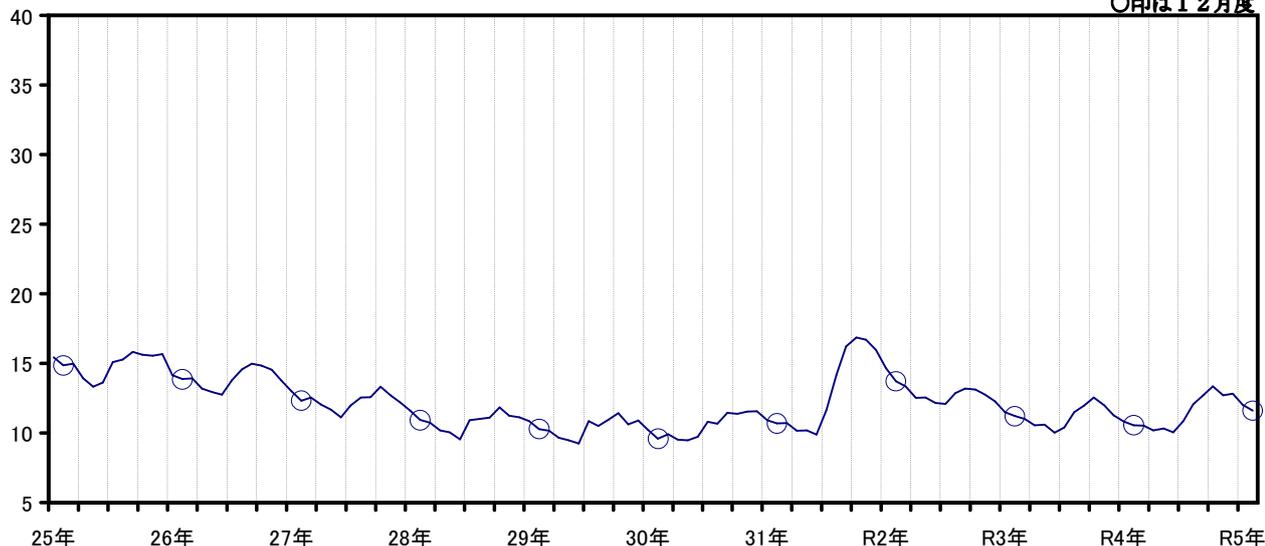
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は12月度



### (3) 所定外労働時間指数

11月 = 120.8

\*前月比(季節調整済指数): 3.8%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 1.6%増

#### <概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は120.8(季節調整済指数)で、3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は1.6%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比4.2%減)が4か月ぶり、卸売業・小売業(同13.0%減)、その他のサービス業(同24.2%減)がいずれも11か月連続、医療・福祉(同11.2%減)が7か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同17.2%増)が2か月ぶり、製造業(同3.2%増)が4か月連続、運輸業・郵便業(同11.4%増)が8か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	117.8	122.9	127.1	119.6	116.6	124.7	125.6	120.8
前月比(%)	2.0	4.3	3.4	▲5.9	▲2.5	6.9	0.7	▲3.8
前年同月比(%)	2.4	2.6	8.7	2.5	0.0	4.1	3.2	1.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.3	0.0	▲1.6	▲0.8	▲0.9	▲1.7	▲0.9	▲2.4

\*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	7.9	▲7.8	37.8	18.7	▲14.6	19.9	▲17.6	17.2
製造業	2.7	3.9	10.5	0.0	2.2	0.7	1.9	3.2
情報通信業	▲8.2	▲4.6	16.6	▲17.1	17.5	10.4	10.4	▲4.2
運輸業・郵便業	9.1	3.5	4.6	7.3	7.4	2.3	8.0	11.4
卸売業・小売業	▲7.1	▲35.9	▲25.6	▲23.2	▲32.6	▲23.2	▲22.1	▲13.0
医療・福祉	▲5.2	0.0	10.8	4.3	1.4	8.1	4.2	▲11.2
その他のサービス業	▲12.9	▲20.5	▲19.7	▲15.2	▲7.7	▲12.7	▲17.4	▲24.2
調査産業計	2.4	2.6	8.7	2.5	0.0	4.1	3.2	1.6

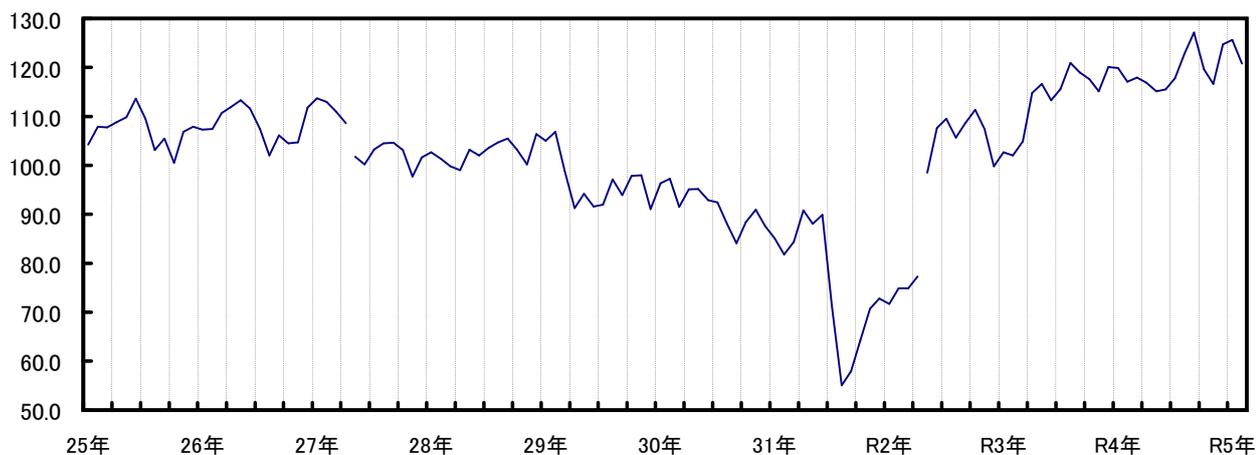
\*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

1 月 = 120.1

(令和2年=100)

\*前月比: 0.0%上昇

\*前年同月比: 0.2%上昇

#### <概況>

1月の国内企業物価指数は120.1となり、前月とは同水準であった。また、前年同月比は0.2%の上昇となった。

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
国内企業物価指数	119.2	119.5	119.8	119.6	119.5	119.8	120.1	120.1
前月比 (%)	▲ 0.1	0.3	0.3	▲ 0.2	▲ 0.1	0.3	0.3	0.0
前年同月比 (%)	4.1	3.6	3.4	2.2	1.1	0.5	0.2	0.2

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

12月 = 143,418億円

(銀行、信用金庫)

\*前月比: 0.8%増

\*前年同月比: 0.3%減

#### <概況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,418億円で、前月比とは0.8%の増加となった。また、前年同月比は0.3%の減少となった。

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	142,867	142,709	142,257	142,029	142,841	142,035	142,268	143,418
前月比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.2	0.6	▲ 0.6	0.2	0.8
前年同月比 (%)	0.6	0.2	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.3

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

11月 = 1.260%

(県内地銀4行総平均)

\*前月差: 0.005ポイント減

\*前年同月差: 0.048ポイント減

#### <概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.260%で、前月から0.005ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.048ポイントのマイナスとなった。

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	1.291	1.286	1.279	1.272	1.269	1.266	1.265	1.260
前月差(ポイント)	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.005
前年同月差(ポイント)	▲ 0.058	▲ 0.058	▲ 0.055	▲ 0.057	▲ 0.053	▲ 0.053	▲ 0.051	▲ 0.048

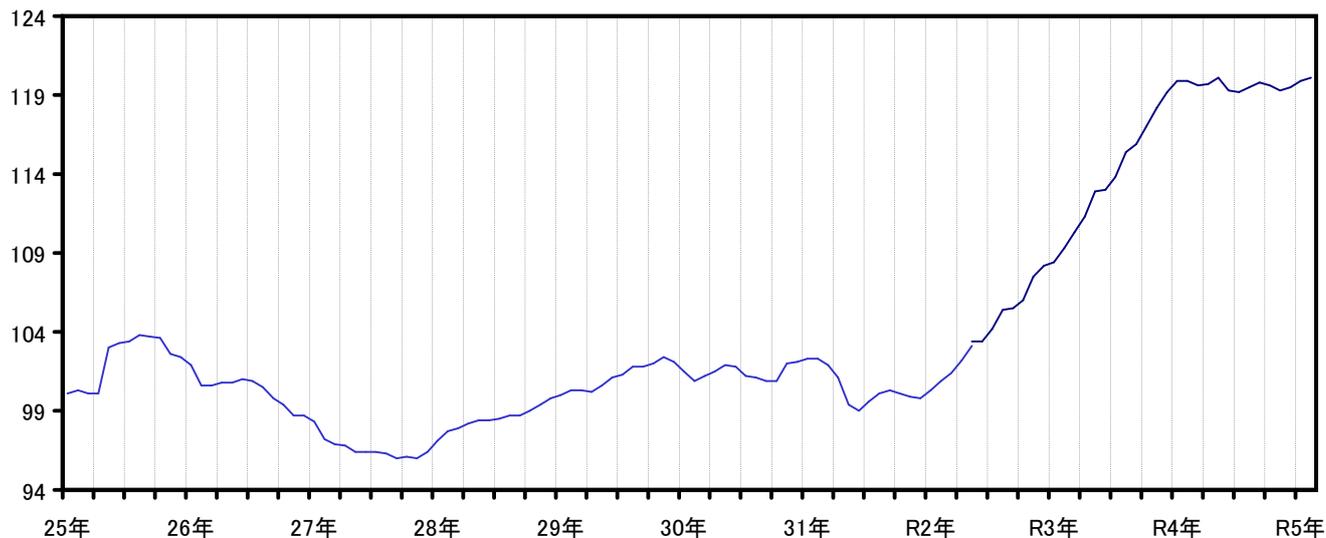
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

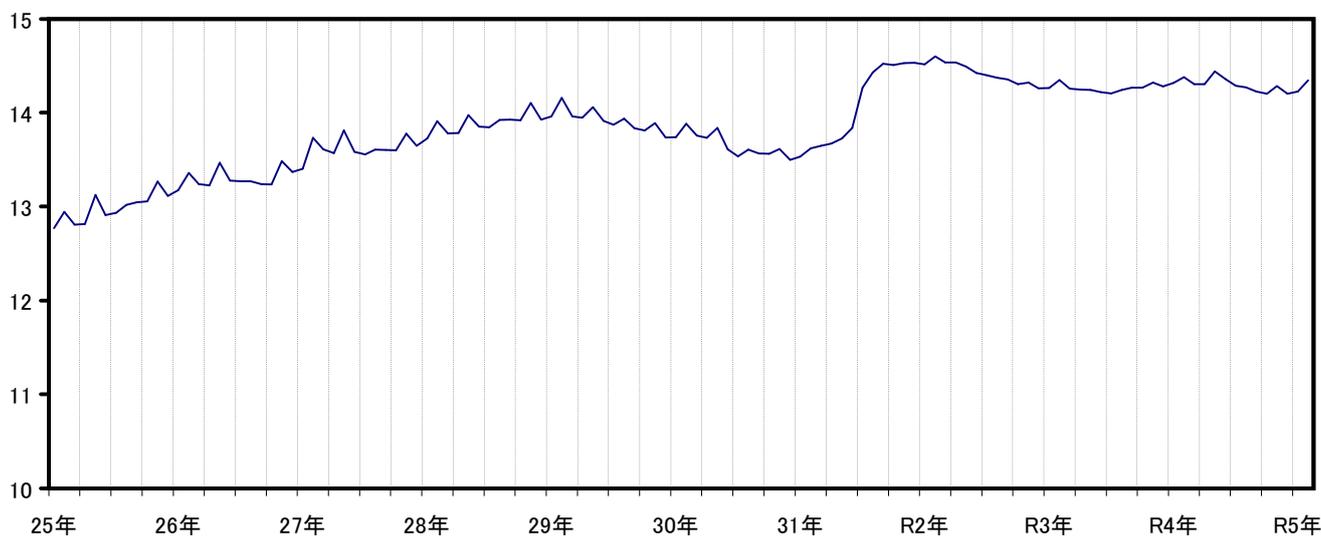
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



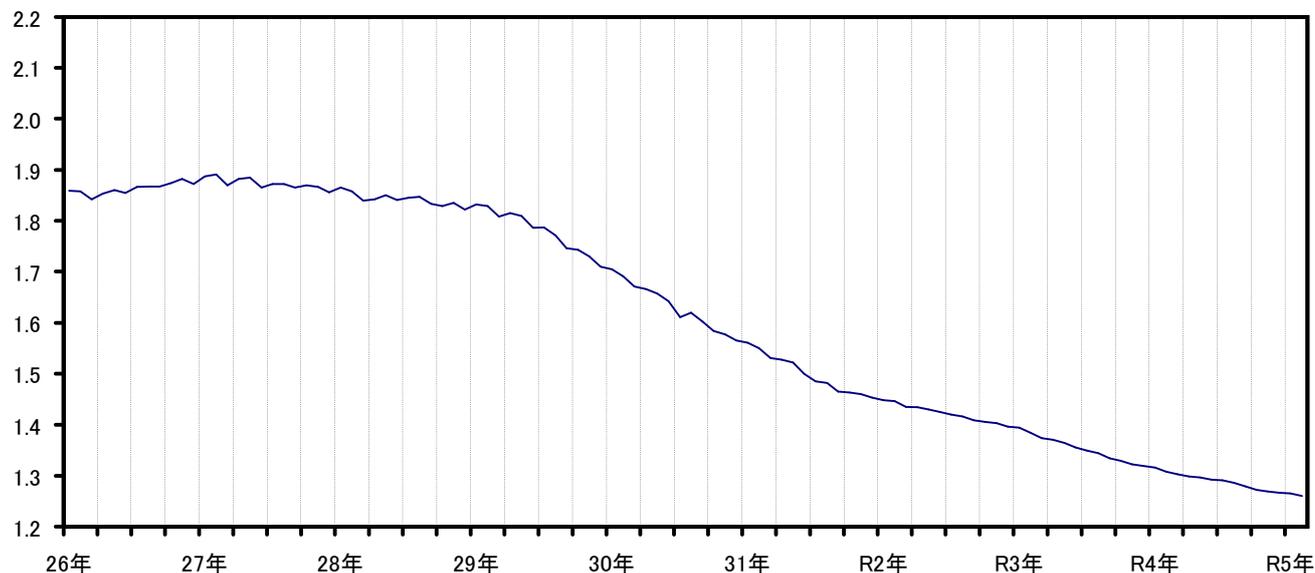
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****12月 = 31,745百万円**

\*前年同月比： 1.6%減

## &lt;概況&gt;

12月の保証承諾は、金額は31,745百万円（前年同月比 1.6%減）、件数は2,240件（同 3.8%減）と、いずれも前年実績を下回った。

	R 5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	22,849	28,390	25,377	26,616	23,777	22,088	25,577	31,745
前年同月比（%）	▲ 33.7	▲ 15.3	8.2	4.7	▲ 11.1	24.0	6.9	▲ 1.6
保証件数（件）	1,637	2,066	1,881	1,971	1,860	1,670	1,763	2,240
前年同月比（%）	▲ 13.8	1.8	8.1	0.6	▲ 13.2	10.6	▲ 3.7	▲ 3.8

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****1月 = 146.57円/ドル**

\*前月差： 2.50円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 16.37円安

## &lt;概況&gt;

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は146.57円で、前月と比べて2.50円の円安となり、2か月ぶりに円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R 5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
平均相場（円）	141.19	141.21	144.77	147.67	149.53	149.83	144.07	146.57
前月差（円）	3.82	0.02	3.56	2.90	1.86	0.30	▲ 5.76	2.50
前年同月差（円）	7.33	4.58	9.53	4.53	2.52	7.39	9.14	16.37

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****1月 = 15件**

\*前年同月比： 21.0%減

## &lt;概況&gt;

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は15件（前年同月比 21.0%減）、負債総額は1,219百万円（同 39.5%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が10件と全体の66.7%を占め、18か月連続で50%以上となっている。

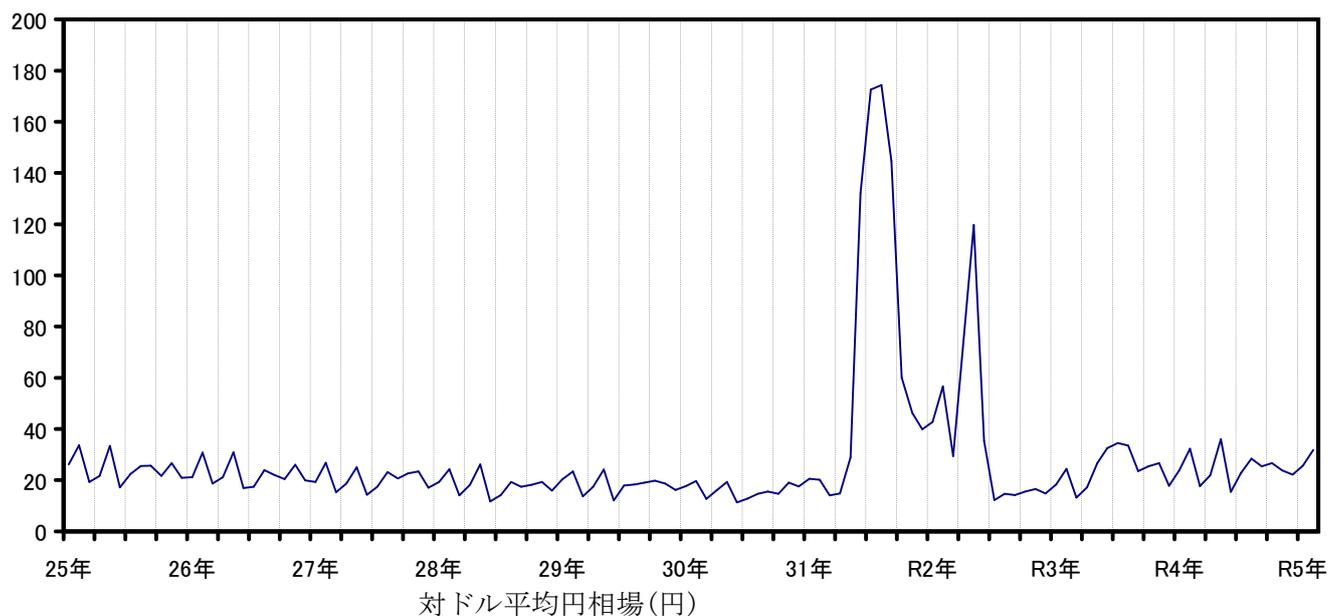
	R 5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
倒産件数（件）	15	24	15	31	17	19	19	15
前年同月比（%）	0.0	380.0	66.6	93.7	▲ 22.7	35.7	5.5	▲ 21.0
うち不況型倒産件数（件）	13	19	13	25	13	17	14	10
負債総額（百万円）	1,630	19,697	2,247	1,666	6,592	2,885	2,062	1,219
前年同月比（%）	▲ 15.7	11,155.4	8.0	34.3	152.2	▲ 79.6	▲ 26.6	▲ 39.5

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

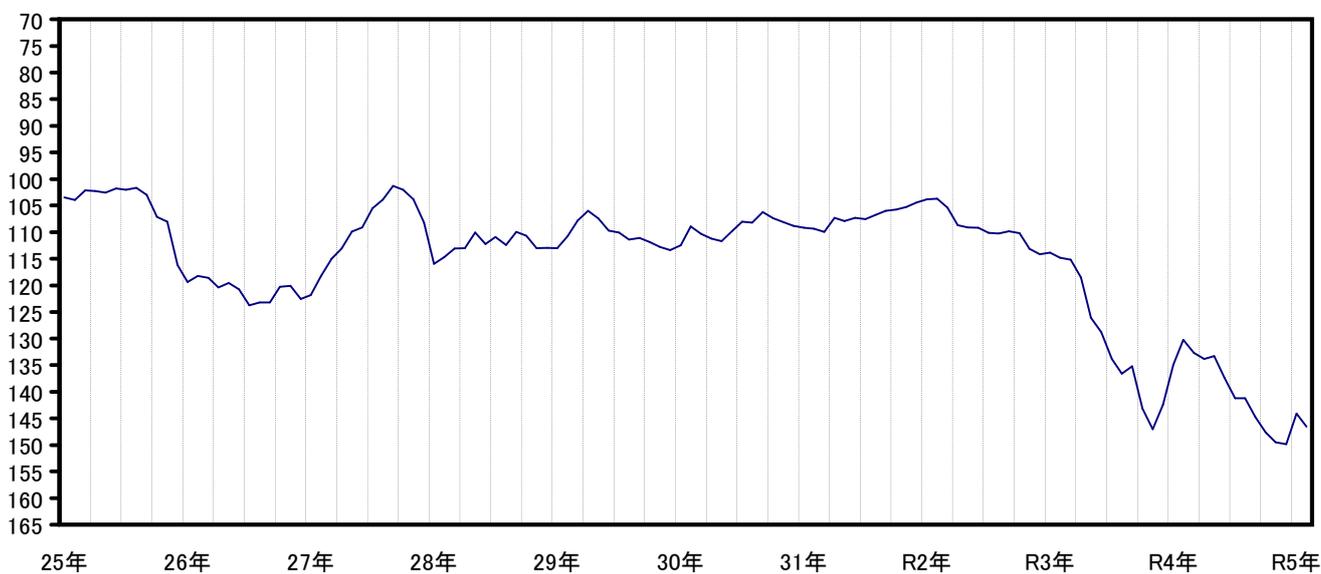
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

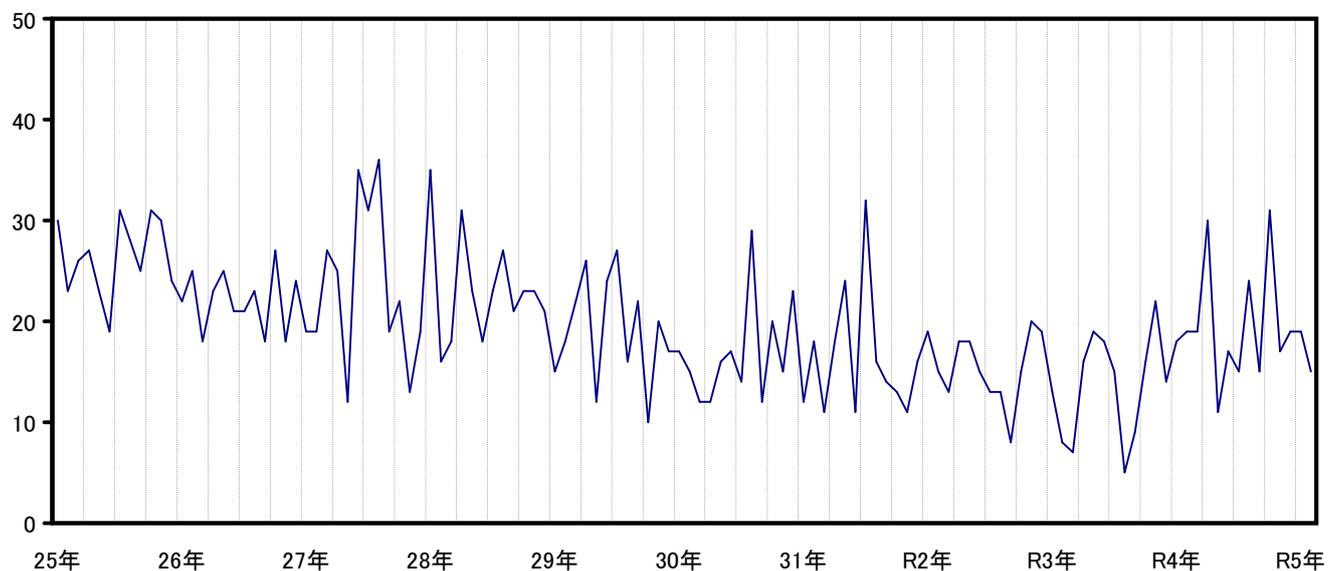


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和5年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、63,688台（前年同月比10.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、5,990台（同56.3%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,704台（同8.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,597台（同20.6%減）で3か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、48,397台（同1.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,308台（同57.6%減）で、7か月ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは、47,361台（同4.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>11月の自動車国内生産台数は、857,001台（前年同月比 11.7%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。輸出は399,591台（同 7.5%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが6か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が11か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は372億円（前年同月比13.8%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は280千台（同 12.4%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは595千台（同 8.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。業務用は65千台（同 4.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>12月の携帯電話の国内出荷台数は、661千台（同 40.2%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、485千台（同 48.0%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は73.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,270億8,800万円（前年同月比 9.6%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は888億3,700万円（同 9.6%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが388億6,700万円（同 17.5%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。内需は382億5,100万円（同 9.5%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内関連団体からは、「大きく状況が変わっていない中でも、少し売上が増えているところが出ている。しかし、今後の先行きは不透明。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

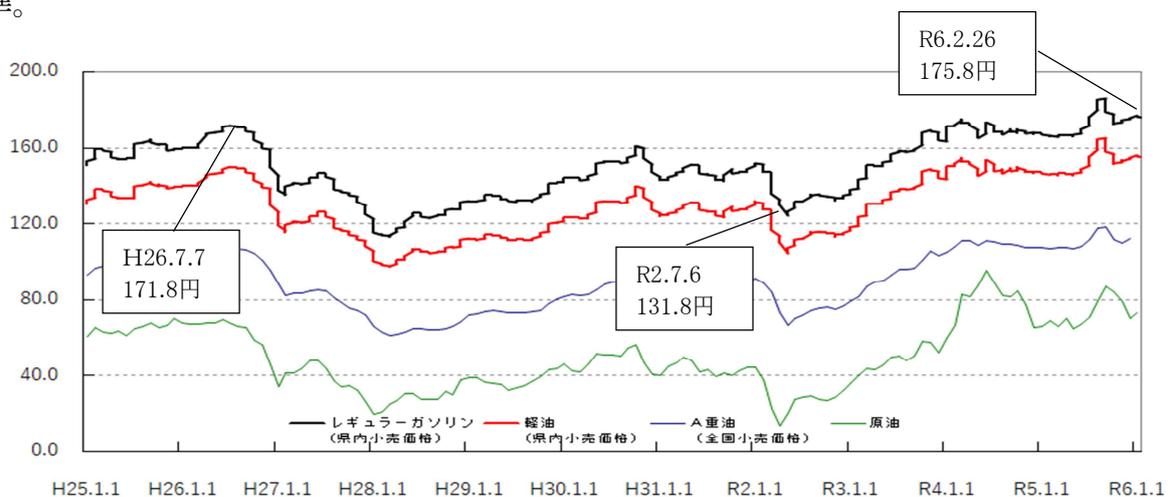
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、61億5,144万円（前年同月比0.2%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが38億2,387万円（同0.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内向けが23億2,757万円（同0.7%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>ピアノ生産台数は3,091台（同7.6%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,812台（同19.6%減）、グランドピアノが1,279台（同17.0%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,115台（同10.7%減）で、6か月連続で前年実績を下回り、国内向けが1,046台（同8.6%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、1,728千トﾝ（前年同月比6.5%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は799千トﾝ（同10.9%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。板紙は930千トﾝ（同2.4%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、399千トﾝ（同14.2%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、165千トﾝ（同1.5%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶 詰・飲 料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け931千箱（前年同月比16.3%減）と11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は658千箱（同19.9%減）と7か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は417千箱（同23.5%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は273千箱（同6.2%減）と3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,359千箱（同1.8%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、1,000千㎡（前年同月比34.0%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、960千㎡（同36.1%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、39千㎡（同2.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、19千㎡（同5.0%減）で、20か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、50億9,802万円（前年同月比5.5%増）と2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、794億9,172万円（同10.6%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店・スーパーの販売額は、46,496百万円（既存店前年同月比 2.3%減）と前年同月の実績を下回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は増加したが、売上げは前年並みだった。季節の限定商品が販売された化粧品の売上げが好調だった。一方、家庭用品の売上げは不調だった。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は同程度であったが、売上げは増加した。特に、食品の売上げが好調だった。また、クリスマスや年末は来客数が多かった。一方、暖冬の影響により季節ものの衣料品の売上げが不調だった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は増加したが、売上げは前年並みだった。一部の鮮魚（カニやイクラなど）において相場安となり、販売数量が増加したため、売上げが好調だった。一方、精肉は販売価格が上昇したため、売上げが不調だった。</p> <p>（資料）関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約33万人で、前年同月比5.6%増となった。</p> <p>本年の12月は、大河ドラマ「どうする家康」関連施設への入込が増加したことが要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約61万台となり、前年同月比1.0%減となった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー175.8円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

## IV データからみた県内主要産業

### <二輪車>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	23,018	23,336	28,877	16,417	18,694	27,567	28,264	28,959	24,847
前年同月比(%)	▲0.7	36.8	8.1	▲37.6	▲30.0	▲7.4	▲1.6	▲3.7	▲7.8
KD輸出額(百万円)	1,746	1,210	789	1,350	874	1,005	1,319	1,441	1,704
前年同月比(%)	▲9.6	6.8	▲11.3	36.5	▲3.5	▲16.7	▲19.2	▲11.8	8.4

### <楽器>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,269	3,439	4,012	3,738	2,919	3,484	3,614	3,510	3,719
前年同月比(%)	4.6	29.0	26.3	16.6	13.0	7.0	9.4	7.1	14.9

### <缶詰>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	1,008	916	982	1,021	954	962	940	1,023	931
前年同月比(%)	▲4.2	▲2.2	▲18.5	▲9.4	▲12.1	▲8.8	▲18.6	▲10.2	▲16.3
うち水産缶詰(%)	▲3.9	4.0	▲17.0	▲9.7	▲18.1	▲13.0	▲23.3	▲13.0	▲19.9
農畜産缶詰(%)	▲5.0	▲16.5	▲22.6	▲8.4	5.0	2.5	▲3.9	▲2.4	▲6.2
飲料缶生産高(千ケース)	7,837	7,674	7,495	7,353	7,092	7,151	6,618	7,029	6,359
前年同月比(%)	11.0	▲0.2	▲5.4	▲7.2	▲6.0	10.9	▲6.8	9.6	▲1.8

### <繊維>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	676	644	693	676	674	801	867	1,049	1,000
前年同月比(%)	▲7.2	▲4.8	▲6.3	▲8.2	▲0.9	2.0	11.2	16.2	34.0
小幅織物(千㎡)	19	20	19	19	15	18	18	18	19
前年同月比(%)	10.5	15.6	11.2	23.7	12.8	16.1	13.0	8.3	▲5.0

### <観光>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,521	1,724	1,342	1,820	2,435	1,724	1,707	1,841	1,802
前年同月比(%)	8.3	15.4	16.5	7.2	1.2	13.1	14.3	8.0	6.0
観光施設(10施設)入込 (千人)	463	543	316	347	439	376	470	458	334
前年同月比(%)	7.1	▲0.9	19.1	19.9	▲8.8	24.6	6.4	13.9	5.6
有料道路(4路線)通行量 (千台)	560	607	523	626	693	584	604	621	613
前年同月比(%)	2.0	▲2.9	▲3.9	2.8	▲1.7	4.0	▲1.4	2.0	▲1.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		



# 静岡県月例経済報告

令和6年2月号 通巻574号

発行 静岡県経済産業部  
令和6年2月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>